

## 【2024年卒】理系の学科系統別活動状況

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）のより良い就職・採用の在り方を追求するための研究機関・就職みらい研究所（所長：栗田 貴祥）は、就職みらい研究所学生調査モニターの大学生・大学院生を対象に「就職プロセス調査」を実施いたしました。このたび調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

### 調査結果サマリ

今回は2024年卒の理系学生の6月12日時点での動向を「生物・農学・水産系」「機械・電気・電子系」「情報工学系」「建築・土木系」の学科系統別に分類し、分析しました。分析結果からは、就職活動の進め方や進路確定の時期などの行動について学科系統別に異なることが分かりました。

#### 【目次】

学科系統別に見る就職内定率（大学生、大学院生）	P2、3
学科系統別に見る進路確定時期（大学生、大学院生）	P4、5
学科系統別に見る内定取得先企業の業種（大学生、大学院生）	P6、7
学科系統別に見る就職活動開始時期（大学生、大学院生）	P8、9
データ：学科系統別各活動実施率（大学生、大学院生）	P10、11

理系大学生の就職内定率（※）は、学科系統によって推移に差が見られますが、3～5月中に多くの学生の内定取得が進んだことがうかがえます。進路確定の時期については、ピークが3～5月に分散しており、学科系統によって違いがありました。就職活動開始時期を見ると、2022年6月に就職活動を開始した学生が多く、時期の分布は学科系統によって差が見られました。就職活動開始時期や進路確定時期は、学科系統に加え、学生の志向や活動の進め方などの状況によってさまざまであることがうかがえます。

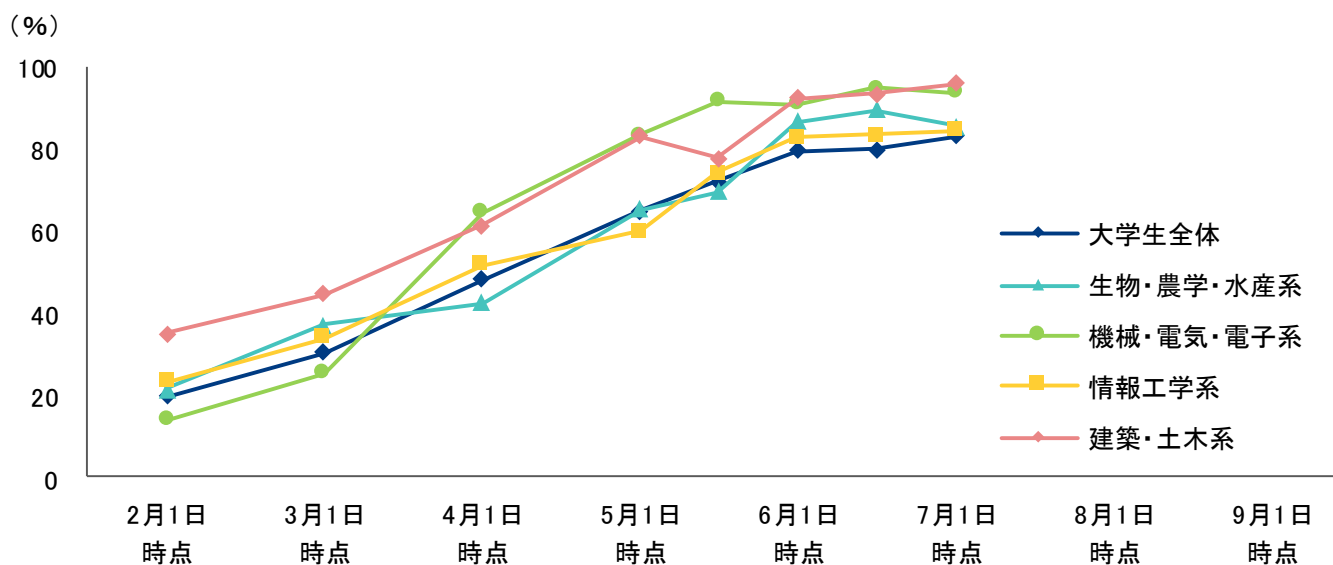
（※）内々定を含む

学科系統により内定率の推移に差が見られるが、多くが3～5月で内定取得が進む

- ・大学生全体では 3～5月中の就職内定率の伸びが大きい。
- ・学科系統別に1カ月ごとの伸びを見ると、生物・農学・水産系は5月1日時点の伸びが大きいことから4月中に、情報工学系は6月1日時点の伸びが大きいことから5月中に、内定取得が進んだことがうかがえる。

2024年卒 就職内定率（大学生）

大学生\_全体（就職志望者/単一回答）※大学院生除く



	2月1日 時点	3月1日 時点	4月1日 時点	5月1日 時点	5月15日 時点	6月1日 時点	6月12日 時点	7月1日 時点
■大学生全体	19.9%	30.3%	48.4%	65.1%	72.1%	79.6%	80.0%	83.2%
■生物・農学・水産系	21.6%	37.2%	42.5%	65.4%	69.6%	86.7%	89.5%	85.7%
■機械・電気・電子系	13.9%	25.5%	64.8%	83.7%	91.7%	91.2%	94.8%	93.8%
■情報工学系	23.5%	34.1%	51.7%	60.2%	74.3%	82.8%	83.5%	84.6%
■建築・土木系	35.1%	44.6%	61.4%	83.3%	77.8%	92.3%	93.4%	95.9%

※背景を灰色で表記している数値は集計対象数が50に満たないため、参考値です

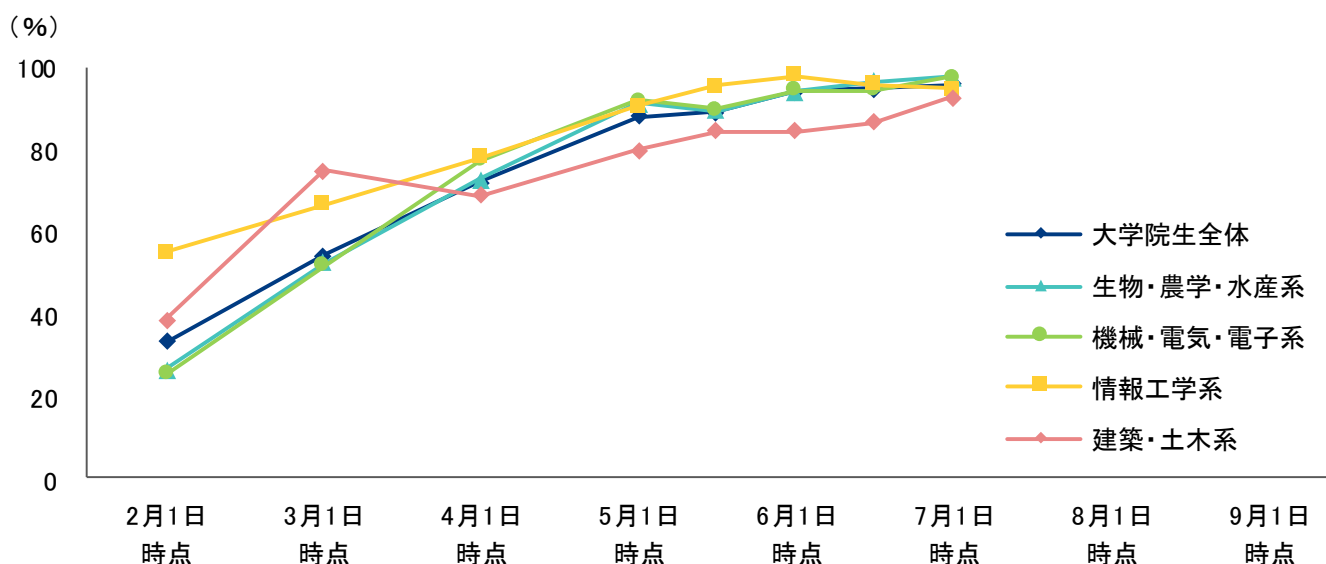
※「就職内定率」の用語の定義は、13ページをご参照ください

学科系統により内定率の推移に差が見られるが、多くが2～3月で内定取得が進む

- ・大学院生全体で見ると、2月1日時点で3割以上、4月1日時点で7割以上が内定を取得している。
- ・1か月ごとの内定率の伸びを見ると、3月1日時点と4月1日時点の伸びが大きく、2月中、3月中に多くの学生の内定取得が進んだことがうかがえる。

2024年卒 就職内定率（大学院生）

大学院生\_全体（就職志望者/単一回答）



	2月1日 時点	3月1日 時点	4月1日 時点	5月1日 時点	5月15日 時点	6月1日 時点	6月12日 時点	7月1日 時点
■大学院生全体	33.3%	54.2%	72.3%	88.2%	89.4%	94.3%	95.0%	96.0%
■生物・農学・水産系	26.5%	52.6%	72.7%	91.4%	89.7%	94.3%	96.9%	97.8%
■機械・電気・電子系	25.6%	51.9%	77.4%	92.0%	89.9%	94.7%	94.6%	97.7%
■情報工学系	54.9%	66.7%	78.2%	90.7%	95.8%	98.0%	96.0%	94.9%
■建築・土木系	38.5%	75.0%	68.8%	80.0%	84.6%	84.6%	86.7%	92.9%

※背景を灰色で表記している数値は集計対象数が50に満たないため、参考値です

※「就職内定率」の用語の定義は、13ページをご参照ください

### 学科系統によって多少の差はあるが、進路確定のピークは3～5月に分散

・6月12日時点で進路を確定している学生の割合は学科系統によって異なるが、理系の各学科系統では7割以上の学生が進路を確定している。

・学科系統によって進路確定のピークに違いがあり、生物・農学・水産系は5月が51.1%と最も高い。一方で、情報工学系は3月が23.4%で最も高いが4月・5月に確定する学生の割合も2割前後と大きな差はない。

#### 就職志望者のうち、6月12日時点に進路が確定している割合（大学生）

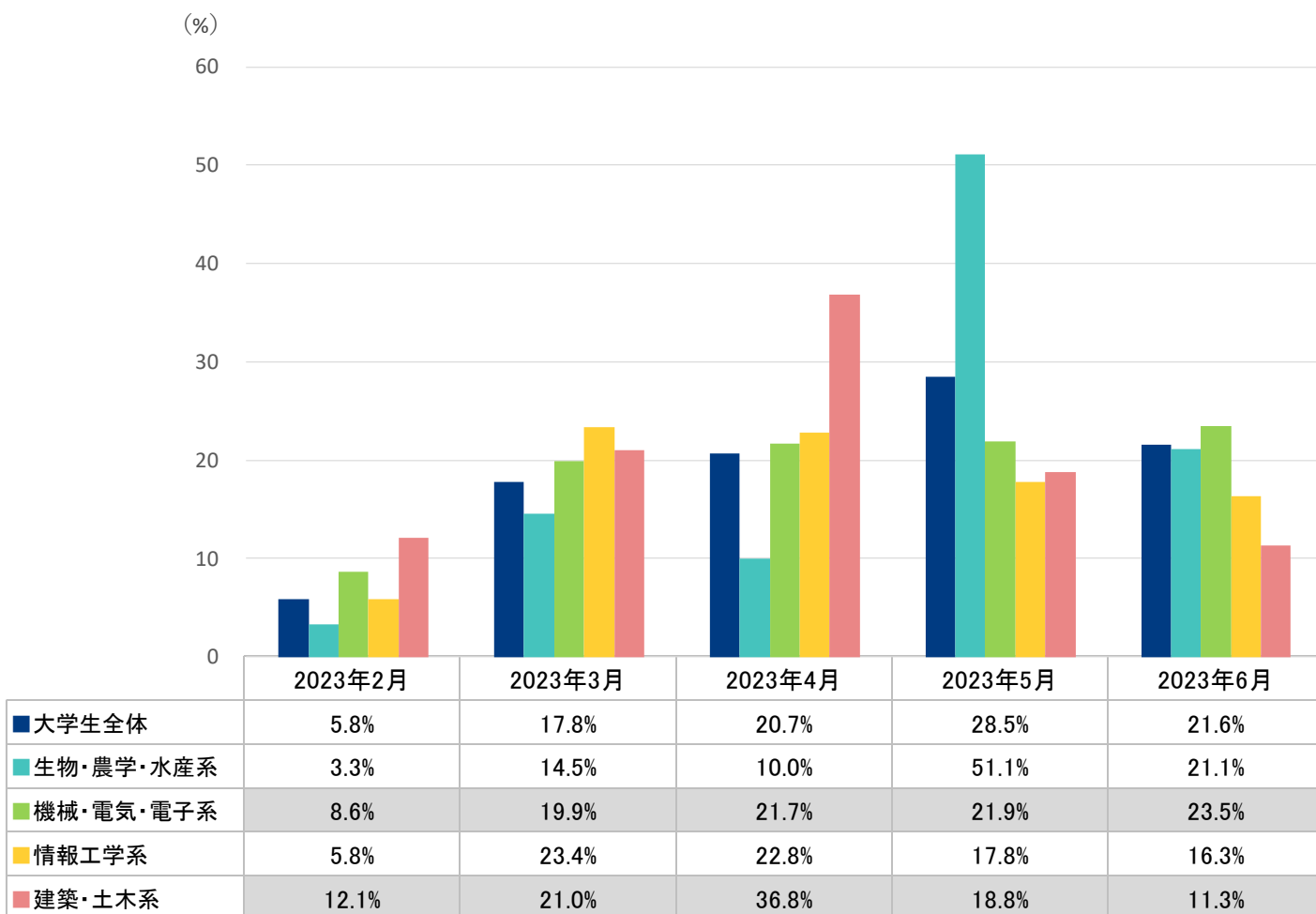
大学生\_全体（就職志望者/単一回答）※大学院生除く

	大学生全体	生物・農学・水産系	機械・電気・電子系	情報工学系	建築・土木系
6月12日時点の 進路確定率	67.2	72.1	83.1	77.2	93.4

※背景を灰色で表記している数値は集計対象数が50に満たないため、参考値です

#### 進路確定時期（大学生）

大学生\_進路確定者（就職志望者/単一回答）※大学院生除く



※背景を灰色で表記している数値は集計対象数が50に満たないため、参考値です  
※2023年6月12日時点調査より

### 学科系統によって多少の差はあるが、進路確定のピークは3～5月に分散

- ・6月12日時点で進路を確定している学生の割合は、大学院生全体で約9割である。
- ・全体の傾向として、進路確定のピークは3～5月に分散しており、学科系統によってピークに違いがある。

#### 就職志望者のうち、6月12日時点で進路が確定している割合（大学院生）

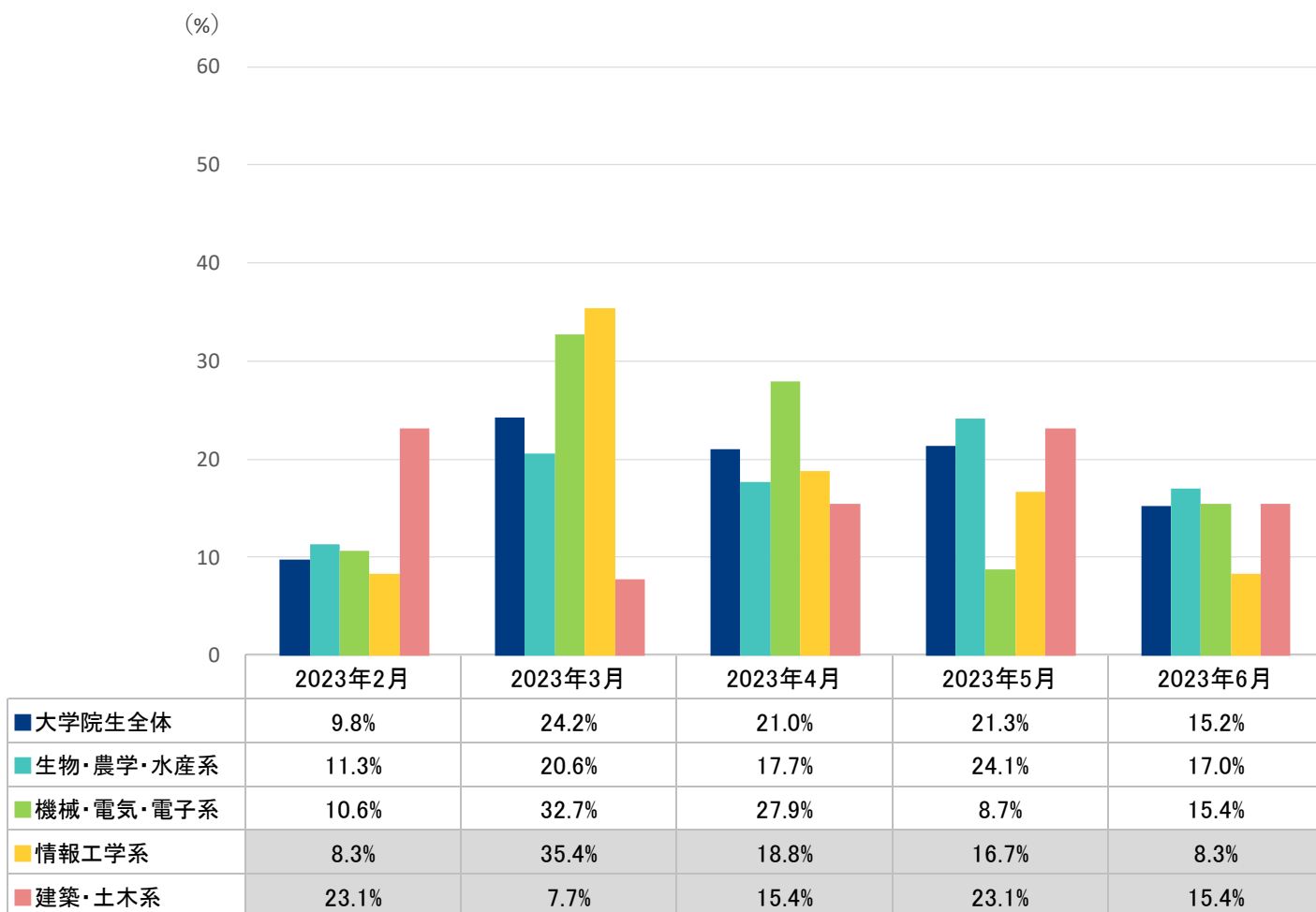
大学院生\_全体（就職志望者/単一回答）

	大学院生全体	生物・農学・水産系	機械・電気・電子系	情報工学系	建築・土木系
6月12日時点の進路確定率	89.5	87.6	93.7	96.0	86.7

※背景を灰色で表記している数値は集計対象数が50に満たないため、参考値です

#### 進路確定時期（大学院生）

大学院生\_進路確定者（就職志望者/単一回答）



※背景を灰色で表記している数値は集計対象数が50に満たないため、参考値です  
 ※2023年6月12日時点調査より

学科系統によって差があるが「情報・サービス業」「製造業」からの内定取得が目立つ

・内定取得先企業の業種について学科系統別に見るとそれぞれ最も割合が高い業種は、生物・農学・水産系は「製造業」44.1%、機械・電気・電子系は「製造業」58.4%、情報工学系は「情報・サービス業」86.1%だった。

6月12日時点の就職内定率（大学生）

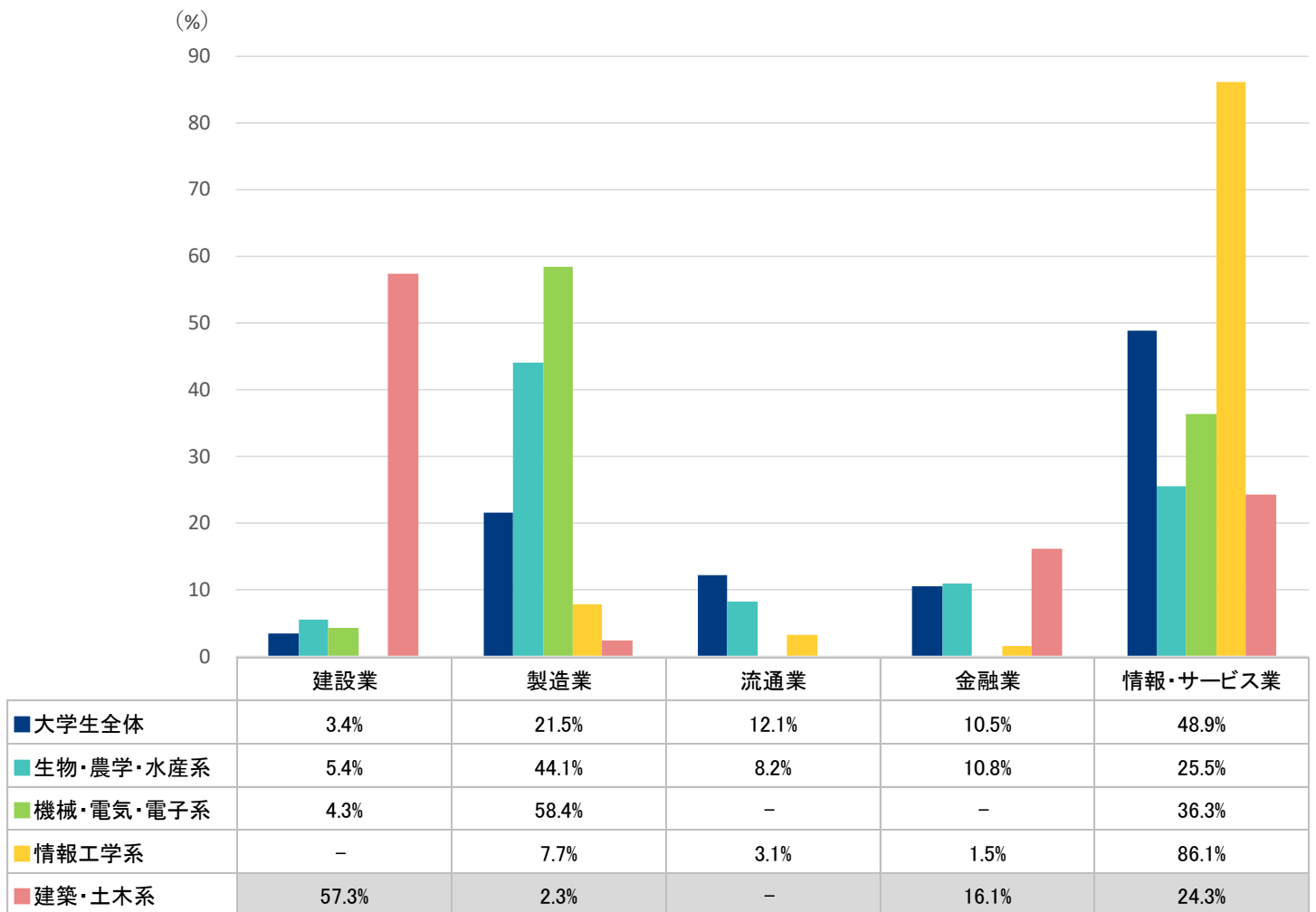
大学生\_全体（就職志望者/単一回答）※大学院生除く

	大学生全体	生物・農学・水産系	機械・電気・電子系	情報工学系	建築・土木系
6月12日時点の就職内定率	80.0	89.5	94.8	83.5	93.4

※背景を灰色で表記している数値は集計対象数が50に満たないため、参考値です

6月12日時点の内定取得先企業の業種（大学生）

大学生\_内定取得者（就職志望者/複数回答）※大学院生除く



※背景を灰色で表記している数値は集計対象数が50に満たないため、参考値です

## 大学院生は「製造業」での内定取得が目立つ

- ・大学院生全体で見ると、「製造業」での内定取得の割合が最も高かった。
- ・次いで、「情報・サービス業」での内定取得の割合が高く、中でも情報工学系は大学生と同様、多くの学生が当該業種で内定を得ている。

### 6月12日時点の就職内定率（大学院生）

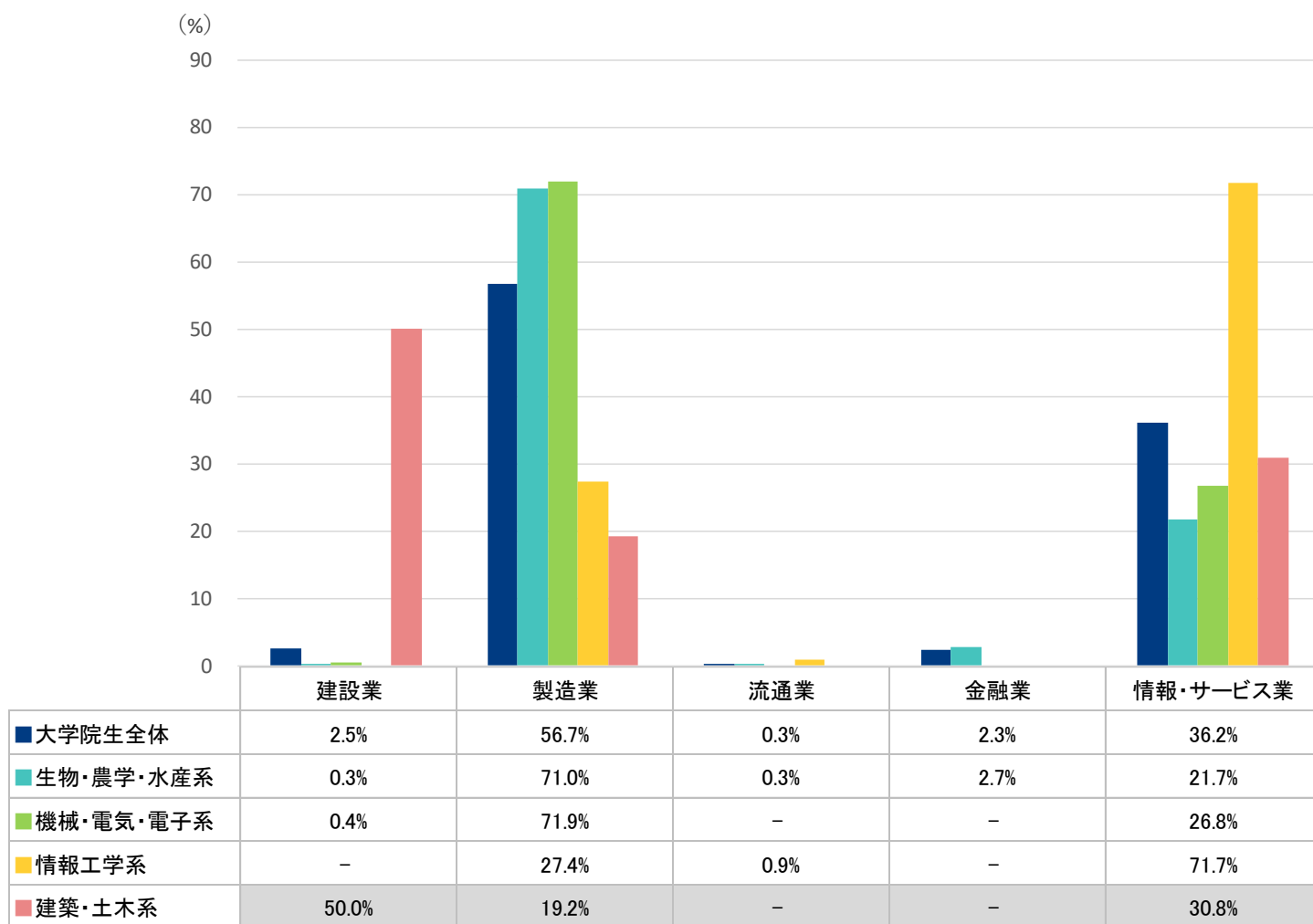
大学院生\_全体（就職志望者/単一回答）

	大学院生全体	生物・農学・水産系	機械・電気・電子系	情報工学系	建築・土木系
6月12日時点の就職内定率	95.0	96.9	94.6	96.0	86.7

※背景を灰色で表記している数値は集計対象数が50に満たないため、参考値です

### 6月12日時点の内定取得先企業の業種（大学院生）

大学院生\_内定取得者（就職志望者/複数回答）



※背景を灰色で表記している数値は集計対象数が50に満たないため、参考値です

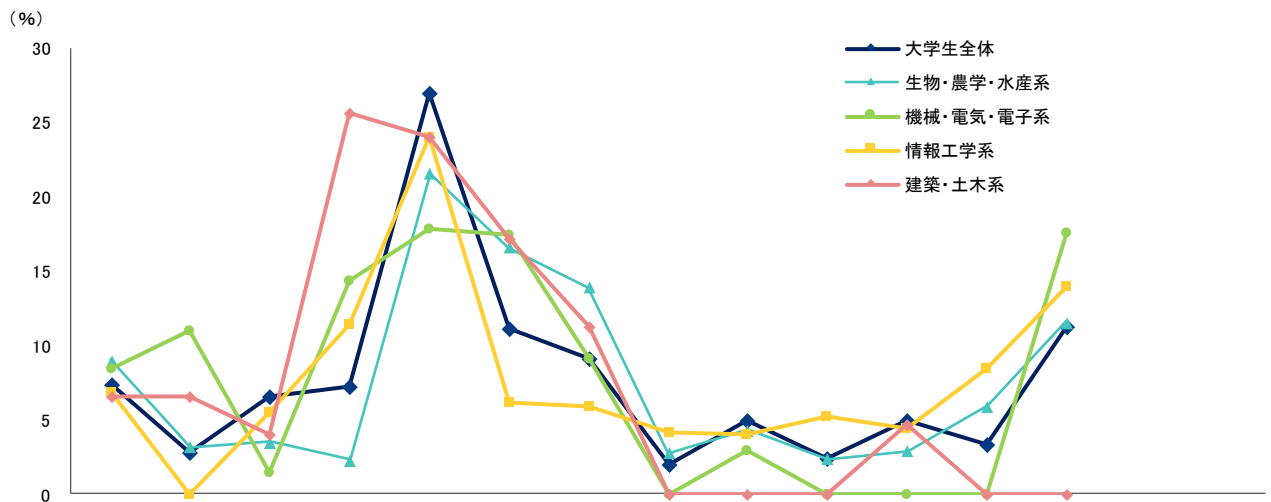
## 2022年6月に就職活動を開始した学生が多い。時期の分布は学科系統によって差がある

・生物・農学・水産系、機械・電気・電子系、情報工学系は大学生全体と同様、2022年6月に開始した学生の割合が最も高い。

・2022年9月までに開始した学生の割合の累計を見ると、大学生全体は73.2%、生物・農学・水産系が72.8%、機械・電気・電子系は79.5%、情報工学系が64.1%と、学科系統によって差が見られることと、理系の全ての学科系統が大学生全体に比べて開始が早いわけではないことが分かる。

### 就職活動の開始時期（大学生）

大学生\_全体（就職志望者・就職活動経験者／単一回答）※大学院生除く



	2022年												2023年		5月 までの 累計	9月 までの 累計
	2月 以前	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月 以降			
■ 大学生全体	7.4%	2.8%	6.5%	7.3%	27.0%	11.1%	9.1%	2.0%	4.9%	2.4%	4.9%	3.3%	11.3%	24.1%	73.2%	
■ 生物・農学・水産系	9.0%	3.2%	3.5%	2.3%	21.6%	16.6%	13.9%	2.8%	4.3%	2.4%	2.9%	5.9%	11.6%	18.0%	72.8%	
■ 機械・電気・電子系	8.5%	11.0%	1.4%	14.3%	17.9%	17.4%	9.1%	-	2.9%	-	-	-	17.6%	35.2%	79.5%	
■ 情報工学系	6.9%	-	5.5%	11.4%	24.0%	6.2%	5.9%	4.1%	4.0%	5.2%	4.4%	8.4%	14.0%	23.8%	64.1%	
■ 建築・土木系	6.6%	6.6%	4.0%	25.7%	24.0%	17.2%	11.3%	-	-	-	4.7%	-	-	42.9%	95.3%	

※背景を灰色で表記している数値は集計対象数が50に満たないため、参考値です  
 ※2023年6月12日時点調査より

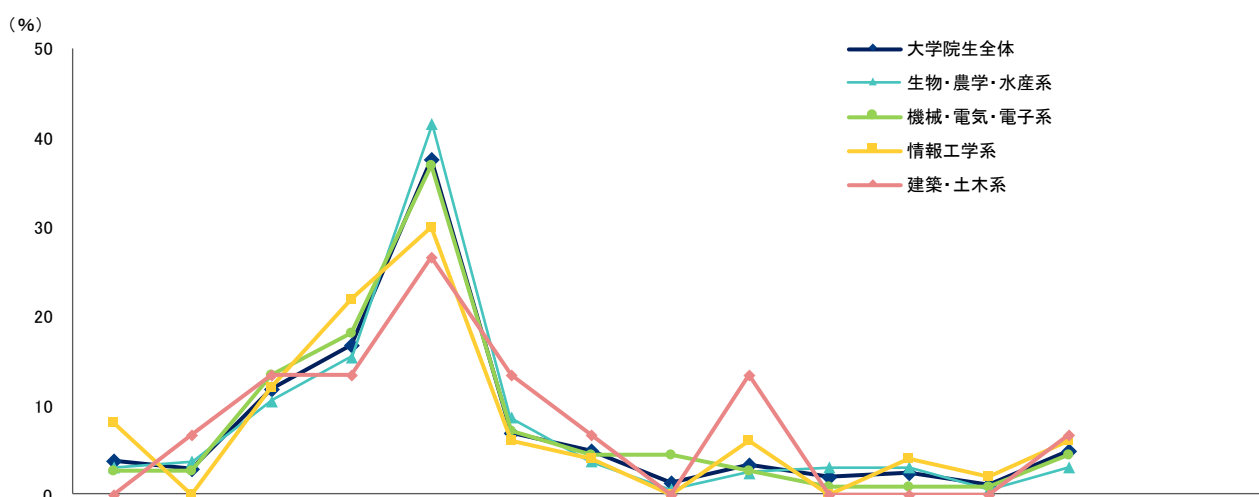


## 大学院生は、2022年6月に就職活動を開始した学生の割合が高い

・全体の傾向として2022年4～6月に開始する学生が多く、どの学科系統でも6月に開始する学生が最も多い。

### 就職活動の開始時期（大学院生）

大学院生\_全体（就職志望者・就職活動経験者／単一回答）



	2022年												2023年		5月 までの 累計	9月 までの 累計
	2月 以前	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月 以降			
■ 大学院生全体	3.8%	2.9%	11.9%	16.7%	37.6%	6.9%	4.8%	1.4%	3.3%	2.1%	2.4%	1.2%	5.0%	35.2%	86.0%	
■ 生物・農学・水産系	3.1%	3.7%	10.6%	15.5%	41.6%	8.7%	3.7%	0.6%	2.5%	3.1%	3.1%	0.6%	3.1%	32.9%	87.6%	
■ 機械・電気・電子系	2.7%	2.7%	13.5%	18.0%	36.9%	7.2%	4.5%	4.5%	2.7%	0.9%	0.9%	0.9%	4.5%	36.9%	90.1%	
■ 情報工学系	8.0%	-	12.0%	22.0%	30.0%	6.0%	4.0%	-	6.0%	-	4.0%	2.0%	6.0%	42.0%	82.0%	
■ 建築・土木系	-	6.7%	13.3%	13.3%	26.7%	13.3%	6.7%	-	13.3%	-	-	-	6.7%	33.3%	80.0%	

※背景を灰色で表記している数値は集計対象数が50に満たないため、参考値です  
 ※2023年6月12日時点調査より

6月12日時点までの各活動実施率（大学生）

大学生\_全体（就職志望者・就職活動経験者/複数回答）※大学院生除く

(%)

	大学生全体	生物・農学・水産系	機械・電気・電子系	情報工学系	建築・土木系(※)
就職に関する情報を収集した	86.7	82.7 (-4.0)	88.0 (1.3)	88.7 (2.0)	88.7 (2.0)
OB・OGなど社会人の先輩を訪問した	19.0	14.0 (-5.0)	27.0 (8.0)	14.9 (-4.1)	48.6 (29.6)
リクレーターから接触された	28.9	29.5 (0.6)	51.8 (22.9)	26.7 (-2.2)	51.2 (22.3)
就職情報サイトに登録した	69.7	70.9 (1.2)	68.4 (-1.3)	74.8 (5.1)	70.9 (1.2)
企業にエントリー(資料・情報の請求)をした	64.8	63.8 (-1.0)	62.7 (-2.1)	67.3 (2.5)	70.9 (6.1)
人材紹介会社を利用した	17.2	15.0 (-2.2)	13.3 (-3.9)	17.7 (0.5)	- (-17.2)
大学で開催される 就職ガイダンスに参加した	56.2	56.2 (-)	55.4 (-0.8)	64.4 (8.2)	71.5 (15.3)
大学や先生などの推薦で 各種団体等に応募した	7.6	5.9 (-1.7)	19.4 (11.8)	5.6 (-2.0)	23.8 (16.2)
大学で開催される 合同説明会・セミナーに参加した	47.1	43.8 (-3.3)	47.7 (0.6)	52.8 (5.7)	55.9 (8.8)
大学以外で開催される 合同説明会・セミナーに参加した	55.8	52.2 (-3.6)	37.0 (-18.8)	56.2 (0.4)	50.9 (-4.9)
個別企業の説明会・セミナーのうち、 対面(社内、会場など)で開催されるものに参加した	40.2	42.2 (2.0)	20.4 (-19.8)	27.4 (-12.8)	57.7 (17.5)
個別企業の説明会・セミナーのうち、 Web上で開催されるものに参加した	59.8	63.4 (3.6)	53.7 (-6.1)	50.6 (-9.2)	64.3 (4.5)
逆求人やスカウトなど、 ダイレクトリクルーティングサービスを利用した	30.0	29.0 (-1.0)	21.7 (-8.3)	42.8 (12.8)	8.7 (-21.3)
適性検査や筆記試験を受けた	88.0	84.7 (-3.3)	92.5 (4.5)	96.1 (8.1)	82.1 (-5.9)
エントリーシートなどの書類を提出した	87.9	87.1 (-0.8)	92.5 (4.6)	93.1 (5.2)	77.4 (-10.5)
面接など対面での選考を受けた	78.5	83.3 (4.8)	83.4 (4.9)	70.3 (-8.2)	82.1 (3.6)
Web上での面接を受けた	79.2	87.6 (8.4)	79.9 (0.7)	85.2 (6.0)	62.5 (-16.7)
企業に自分で撮影した動画を提出した	35.6	34.1 (-1.5)	19.2 (-16.4)	25.6 (-10.0)	26.2 (-9.4)
インターンシップに参加した	71.4	69.2 (-2.2)	66.4 (-5.0)	73.8 (2.4)	77.4 (6.0)
企業研究(業種・職種研究を含む)をした	69.3	75.3 (6.0)	70.7 (1.4)	68.7 (-0.6)	82.1 (12.8)
自己分析をした	73.1	74.1 (1.0)	68.4 (-4.7)	71.7 (-1.4)	75.5 (2.4)
スーツなど、就職活動に必要なものを購入した	62.8	66.6 (3.8)	58.7 (-4.1)	57.3 (-5.5)	69.0 (6.2)
キャリアセンターに相談した	48.2	41.6 (-6.6)	47.0 (-1.2)	42.5 (-5.7)	53.7 (5.5)
その他	0.5	- (-0.5)	2.3 (1.8)	- (-0.5)	- (-0.5)

※「建築・土木系」は集計対象数が50に満たないため、数値は参考値です

※表中（）内は大学生全体の数値との差分（ポイント）

※大学生全体との差分が10ポイント以上を赤文字、マイナス10ポイント以下を青文字で表記

6月12日時点までの各活動実施率（大学院生）

大学院生\_全体（就職志望者・就職活動経験者/複数回答）

(%)

	大学院生全体	生物・農学・水産系	機械・電気・電子系	情報工学系	建築・土木系(※)
就職に関する情報を収集した	91.4	90.7 (-0.7)	90.1 (-1.3)	90.0 (-1.4)	100.0 (8.6)
OB・OGなど社会人の先輩を訪問した	39.0	34.8 (-4.2)	45.9 (6.9)	34.0 (-5.0)	60.0 (21.0)
リクレーターから接触された	46.7	32.9 (-13.8)	58.6 (11.9)	48.0 (1.3)	66.7 (20.0)
就職情報サイトに登録した	80.2	79.5 (-0.7)	80.2 (-)	80.0 (-0.2)	86.7 (6.5)
企業にエントリー（資料・情報の請求）をした	71.7	73.9 (2.2)	72.1 (0.4)	70.0 (-1.7)	53.3 (-18.4)
人材紹介会社を利用した	17.4	19.9 (2.5)	13.5 (-3.9)	22.0 (4.6)	- (-17.4)
大学で開催される 就職ガイダンスに参加した	50.7	48.4 (-2.3)	62.2 (11.5)	58.0 (7.3)	20.0 (-30.7)
大学や先生などの推薦で 各種団体等に応募した	15.5	15.5 (-)	18.9 (3.4)	26.0 (10.5)	- (-15.5)
大学で開催される 合同説明会・セミナーに参加した	45.5	44.1 (-1.4)	53.2 (7.7)	48.0 (2.5)	40.0 (-5.5)
大学以外で開催される 合同説明会・セミナーに参加した	48.8	52.2 (3.4)	45.9 (-2.9)	60.0 (11.2)	33.3 (-15.5)
個別企業の説明会・セミナーのうち、 対面（社内、会場など）で開催されるものに参加した	35.0	35.4 (0.4)	33.3 (-1.7)	34.0 (-1.0)	33.3 (-1.7)
個別企業の説明会・セミナーのうち、 Web上で開催されるものに参加した	62.4	62.7 (0.3)	58.6 (-3.8)	66.0 (3.6)	53.3 (-9.1)
逆求人やスカウトなど、 ダイレクトリクレーティングサービスを利用した	38.3	37.3 (-1.0)	31.5 (-6.8)	52.0 (13.7)	6.7 (-31.6)
適性検査や筆記試験を受けた	89.5	88.8 (-0.7)	87.4 (-2.1)	92.0 (2.5)	86.7 (-2.8)
エントリーシートなどの書類を提出した	91.7	91.9 (0.2)	89.2 (-2.5)	92.0 (0.3)	93.3 (1.6)
面接など対面での選考を受けた	80.5	85.7 (5.2)	76.6 (-3.9)	70.0 (-10.5)	100.0 (19.5)
Web上での面接を受けた	90.7	91.3 (0.6)	91.0 (0.3)	86.0 (-4.7)	93.3 (2.6)
企業に自分で撮影した動画を提出した	45.2	59.0 (13.8)	29.7 (-15.5)	34.0 (-11.2)	33.3 (-11.9)
インターンシップに参加した	81.7	83.2 (1.5)	81.1 (-0.6)	76.0 (-5.7)	86.7 (5.0)
企業研究（業種・職種研究を含む）をした	81.0	82.0 (1.0)	81.1 (0.1)	74.0 (-7.0)	80.0 (-1.0)
自己分析をした	79.0	81.4 (2.4)	77.5 (-1.5)	72.0 (-7.0)	93.3 (14.3)
スーツなど、就職活動に必要なものを購入した	61.9	65.2 (3.3)	61.3 (-0.6)	58.0 (-3.9)	60.0 (-1.9)
キャリアセンターに相談した	34.8	36.6 (1.8)	33.3 (-1.5)	26.0 (-8.8)	40.0 (5.2)
その他	0.5	0.6 (0.1)	0.9 (0.4)	- (-0.5)	- (-0.5)

※「建築・土木系」は集計対象数が50に満たないため、数値は参考値です

※表中（）内は大学院生全体の数値との差分（ポイント）

※大学院生全体との差分が10ポイント以上を赤文字、マイナス10ポイント以下を青文字で表記

## 調査概要

調査目的 | 大学生・大学院生における就職活動の実態を把握する

調査方法 | インターネット調査

集計方法 | 大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体を基に、実際の母集団の構成比に近づけるよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行っている

### 2024年卒：2023年6月12日時点

調査対象 | 2024年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2024』（※）にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生4,567人（内訳：大学生3,574人/大学院生993人）

調査期間 | 2023年6月12日～6月19日

集計対象 | 大学生 1,165人/大学院生 437人

※リクナビ：株式会社リクルートが運営している、就職活動を支援するサイト  
<https://job.rikunabi.com/2024/>

### 2024年卒：2023年7月1日時点

調査対象 | 2024年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2024』にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生4,567人（内訳：大学生3,574人/大学院生993人）

調査期間 | 2023年7月1日～7月4日

集計対象 | 大学生 1,054人/大学院生 362人

## モニターの抽出条件

「卒業後の志望進路（志望する進路の全て）」の回答状況を基に、次の条件で対象を抽出

**本調査対象 = 「就職意向者（就職志望者＋志望進路未決定者）」（※モニター募集時）**

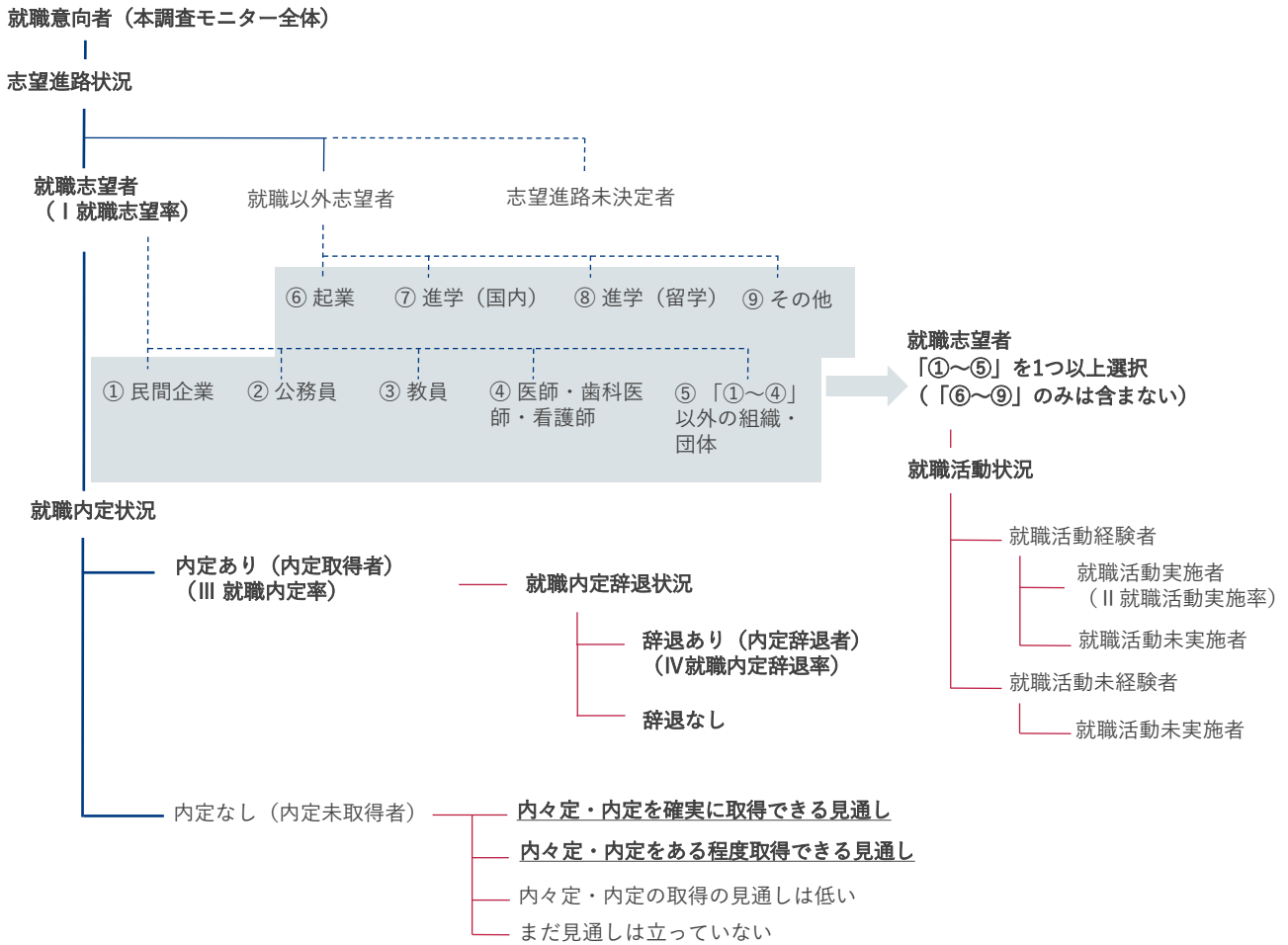
本調査対象については、以下を除いた

- 就職志望者のうち「②公務員」「③教員」「④医師・歯科医師・看護師」のみ選択した者
- 就職以外「⑥起業」「⑦進学(国内)」「⑧進学(留学)」「⑨その他」のみ選択した者

### 調査結果を見る際の注意点

- 「内定率」は内定・内々定を含む。政府の要請における正式な内定日は10月1日以降である
- %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合がある
- 「前回差」「前年同月差」の単位は、「ポイント」
- 本資料での「前年」とは、「2023年卒」を示す

# 就職志望者から見た内定状況の構図



## <各率の算出方法>

I 就職志望率	=	就職志望人数 ÷ 就職意向人数
II 就職活動実施率	=	就職活動実施人数 ÷ 就職志望人数
III 就職内定率	=	就職内定取得人数 ÷ 就職志望人数
IV 就職内定辞退率	=	就職内定辞退人数 ÷ 就職内定取得人数

## <用語の定義>

- 就職意向者 = 当初 (本調査モニター募集時) の志望進路が「就職」および「未決定」者
- 就職志望者 = 当月、就職を志望している者
- 就職活動実施者 = 当月、就職活動を実施している者 (※)
- 就職活動経験者 = 当月までに就職活動の経験がある者
- 就職内定取得者 = 当月までに内定 (内々定) の取得経験がある者
- 就職内定未取得者 = 当月までに内定 (内々定) の取得経験がない者
- 進路確定者 = 当月、進路が確定している者  
進路確定率 = 進路確定人数 ÷ 就職意向人数
- 就職内定辞退者 = 当月までに内定 (内々定) の辞退経験がある者

## ≪地域区分の内訳≫

- 関東 = 東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県
- 中部 = 静岡県、愛知県、岐阜県、山梨県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県
- 近畿 = 京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、三重県、滋賀県
- その他地域 = 「関東」「中部」「近畿」以外の地域

※就職活動実施状況について、「している」「していない」の選択肢のうち、「している」と回答した者